

改正公益通報者保護法への対応の急所

こんなお悩みありませんか？

- ◆ コンプライアンス対策が必要 だけど、何をすれば良いかわからない
- ◆ コンプライアンスの範囲が広すぎて、何から始めれば良いかわからない



コンプライアンスは、企業活動を行う上で従業員が知っておくべきことです。

コンプライアンス違反を犯してしまうことによって、企業の信用が落ちてしまうことにもなります。

本セミナーでは、コンプライアンスの意味や会社として強化すべき理由と強化する方法、違反事例などについて紹介します。

1. 導入

- 公益通報者は敵か味方か
- なぜ通報に「公益」と付されているのか
- 通報者を誘導すべきは外部通報か、内部通報か
- 事例から考える

2. 対応のキーワード

- 「令和4年6月1日」
- 「公益通報対応業務従事者」
- 「常時使用する労働者の数が三百人」
- 「漏らしてはならない」
- 「三十万円以下の罰金」
- 改正法対応の急所
- 事例から考える

3. 内部通報制度の現在

- 具体例

講師紹介



栗原 健二 (くりはら けんじ) 弁護士

早稲田大学法学部 卒業
上智大学法科大学院 修了
2009年1月、弁護士登録(番号39526)
同年より麻生・栗原法律事務所にて企業法務
損害賠償 医療過誤 借地 相続 離婚を中心に扱う

日時

2022年7月14日(木)
14:00~15:00

- 【開催】 Zoom (ウェビナー形式)
- 【定員】 先着100名
- 【料金】 **無料**

お申込みはこちら



<https://forms.gle/qG5mkbffpKZMBnLz8>

safetyNET 株式会社セーフティネット
TEL : 03-6832-3150
e-mail : info@safetynet.co.jp
URL : <https://www.safetynet.co.jp/>

